

はじめよう経済学<sup>+</sup>*Plus*  
**第4講 公共財**

講師：加藤 真也

# 今回(第4講)は…

- ・ 公共財の特徴
- ・ 個別需要曲線の垂直和
- ・ サミュエルソン条件

# 公共財

(例)公園、道路、国防

次の2つの性質を満たす

① 非排除性 お金を払わなくても使える

: 対価を払わない人  
を排除できない

フリーライダー

② 非競合性 みんなで一緒に使える

：ある人の消費が  
他の人の消費を妨げない  
⇒ 各個人は等量消費する

	非排除性	排除性
非競合性	<u>純粹公共財</u> (公園・一般道路)	<u>クラブ財</u> (高速道路)
競合性	<u>コモンプール財</u> (公海の漁場) <u>混雑した公園</u>	私的財 (りんご) ----- <u>共有資源(共有地)、</u> <u>コモンズとも</u> ⇒ <u>コモンズの悲劇</u> (共有地の悲劇)

   : 準公共財

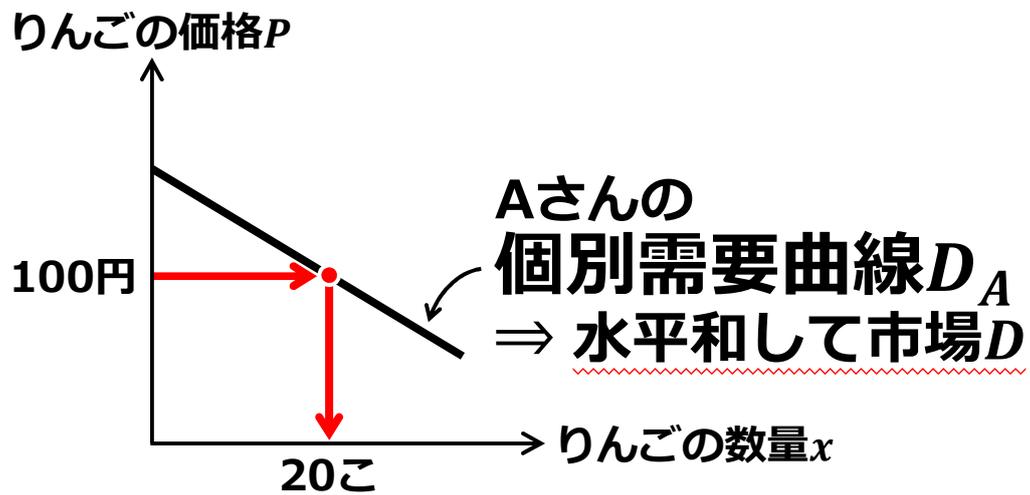
© 2021 Shinya Kato

お金を払わなくても使える

(純粹)公共財は非排除性により、  
民間企業に任せても  
供給されにくい(過小供給)  
⇒ 市場の失敗

公共財はどれだけ作られるべきか？

# ・ 私的財のケース



# 解釈

- ① 価格が100円するとき、りんごを20こ買いたい
- ② 21こ目のりんごに100円を支払ってもいい
- ③ 21こ目のりんごを100円と評価している  
⇒ 限界評価  $MV = 100$ 円 Marginal Value
- ④ 21こ目のりんごから100円分の効用(便益)を得る  
⇒ 限界便益  $MB = 100$ 円 Marginal Benefit

りんごの価格  $P$   $MB_A, MV_A, P_A$

限界便益  
(限界評価)

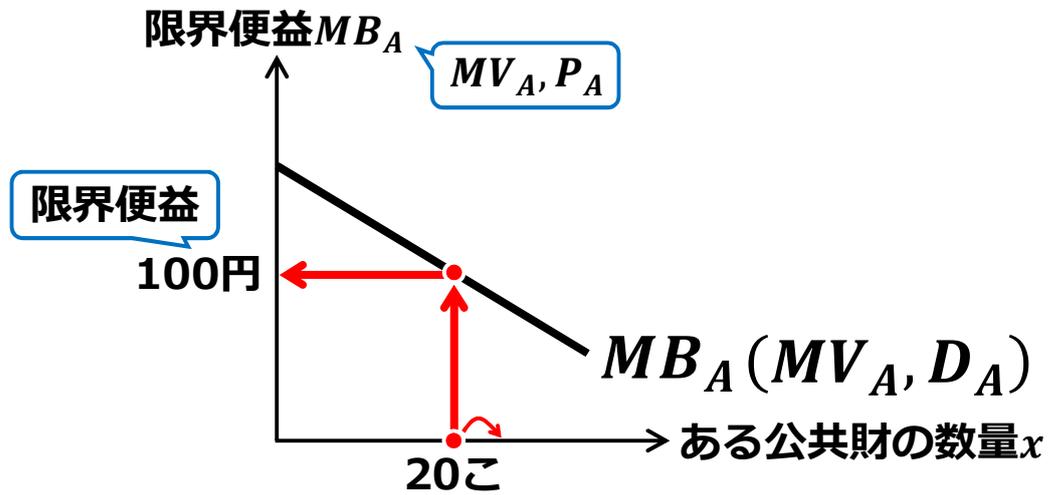
100円

20こ

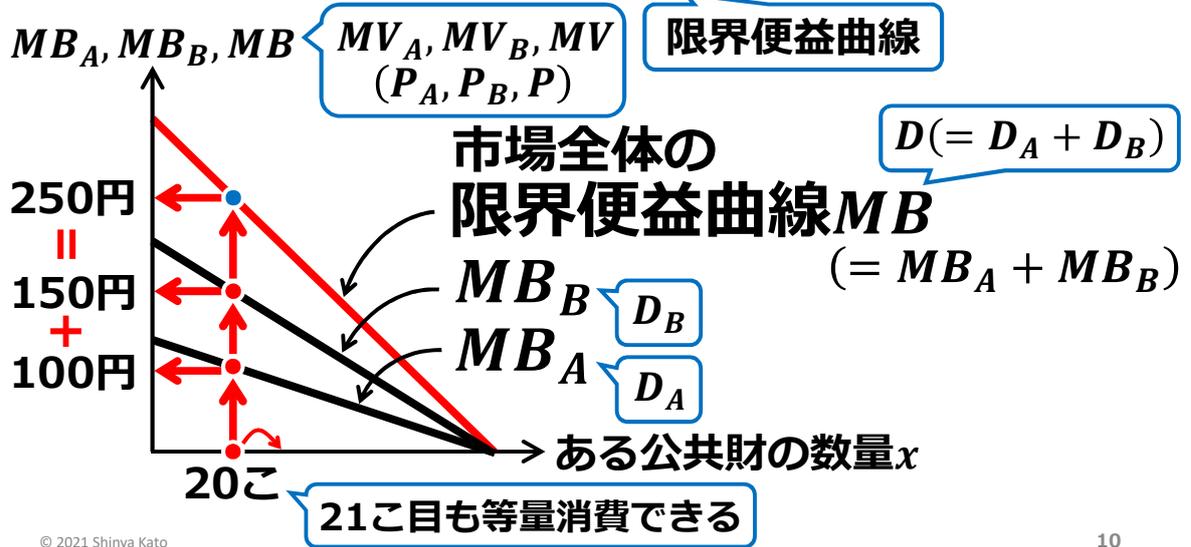
Aさんの  
個別需要曲線  $D_A$   
= 限界評価曲線  $MV_A$   
= 限界便益曲線  $MB_A$

りんごの数量  $x$

# ・ 公共財のケース



# 個別需要曲線の垂直和



## (数値例) 垂直和

$$A\text{さん} : MB_A = -x + 6$$

4 ←———— 2

$$B\text{さん} : MB_B = -x + 10$$

8 ←———— 2

$$\begin{aligned} \text{全体} : MB &= MB_A + MB_B \\ &= -x + 6 + (-x + 10) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= -2x + 16 \end{aligned}$$

4 + 8  
12 ←———— 2

市場需要曲線

⇒ 市場全体の限界便益曲線

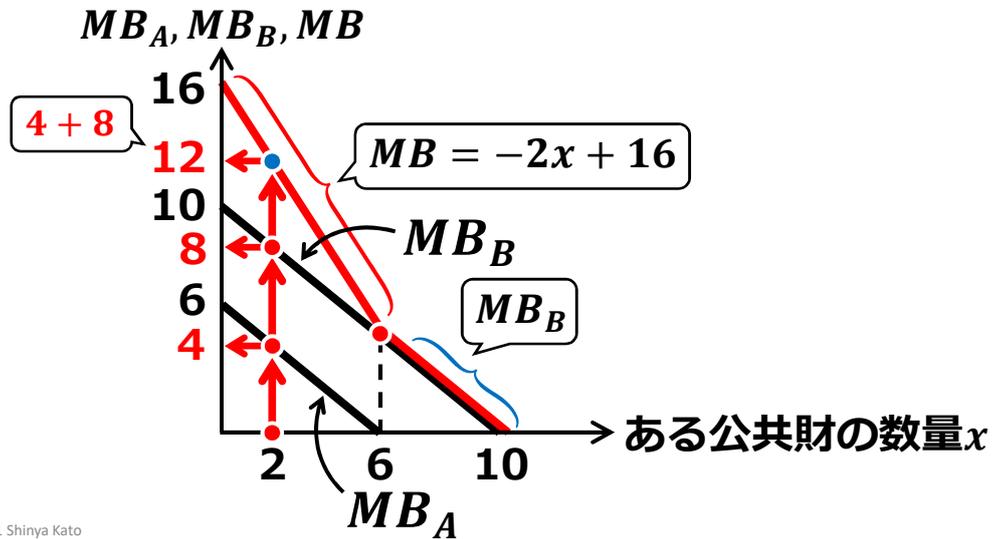
# 注意

$$MB_A = -x_A + 6$$

↑ 等量消費より  $x$  に統一  
 $\Rightarrow x_A = x_B = x$

$$MB_B = -x_B + 10$$

# (数値例) 垂直和のイメージ



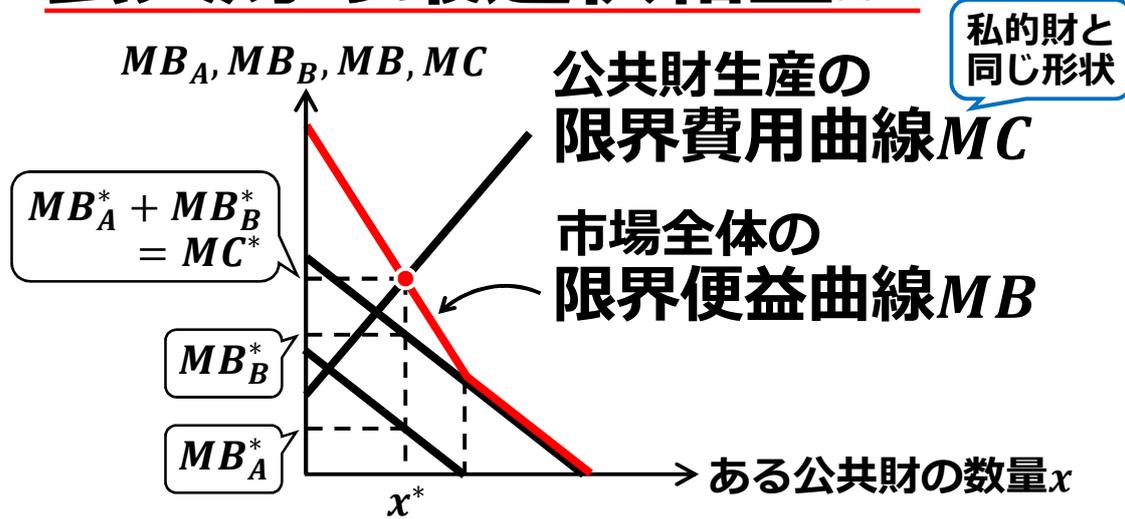
# ポイント

垂直和(縦に足し合わせること)

$$: P = P_A + P_B \quad MB = MB_A + MB_B$$

「 $P_A = \dots$ 」の形で足す

# 公共財の最適供給量 $x^*$



# 公共財の最適供給条件

$$MB_A + MB_B = MC$$

各消費者のMBの和

⇒ (ボーエン=) サミュエルソン条件とも

# ポイント

政府が公共財の最適供給量 $x^*$   
を実現する必要がある

## 発展的な内容

政府には各消費者の公共財に対する  
個別需要曲線の情報が無い

(解決策) リンダール・メカニズム  
クラーク＝グロブス・メカニズム

## 次回(第5講)は…

- ・ テーマは貿易です
- ・ 有名な比較生産費説を学びます
- ・ 自由貿易によって生じる利益について理解します